

学校評価シート(学校関係者評価)

武蔵野相愛幼稚園

外部評価委員 2名

内部評価委員 2名

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

建学の精神に基づき、適切に設定されている。

特に「共に生きることの自信を培う」ことが希薄になりつつある現代において、とても重要な課題であると感じている。その点において、目標設定としてとても適切であると感じている。この園でしかできないような経験を培い、子どもたちがこの園で良かったと大人になっても感じられるための目標を今後とも設定して欲しい。

「新任の育成」という項目が「学校運営 9 教育実習」の前に、設定されると望ましい。

2. 評価結果の内容は適切であったか

適切である。

園児、教職員、保護者、その他関わる人たちが相愛幼稚園を築きあげている事がうかがえる。

園児数は少なくなっても経営は安定しているということを伝えていくことができるとよい。

6番の保護者への対応についてB評価となっているが、通常保育の中でも先生方の手厚いフォローを感じ、また、保育者と保護者のコミュニケーションは、武蔵野相愛幼稚園だからこその事だと思っているため、今以上の評価をされてもいいと感じる。

保育の中核でもある「項目Ⅲ-3 保育の計画と実践」の取り組み状況が「若い保育者」の育成の言説に留まっており、さらにその評価と改善が食育の観点で記されているため、自己評価の観点のずれが見られる。また、この項目は、武蔵野相愛幼稚園らしい保育の計画と実践がもう少し具体的に記されることが望ましい。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

適切である。

今の時代に即した新しい試みを感じられる。

「とうきょう すくわくプログラム」への取り組みについて、具体的に触れることができるとよい。

「6.保護者への対応」について、武蔵野相愛幼稚園では、毎月「相愛だより」を発行しており、常に丁寧で意味のある内容が記されているにもかかわらず、これをこの項目の評価内容に加えていないことが残念である。「項目Ⅲ-3 保育の計画と実践」の取り組み状況を保育者で振り返り、紀要等にまとめつつ、前述の「相愛だより」と合わせて、地域に発信するなど、その内容を「学校運営 5 情報」や「社会貢献 2 保育の公開」等の評価項目に反映できると良い。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

概ね適切である。

各項目において工夫をし、よりよい保育と園経営が行われている。

子どもたちが主体の保育と若手の先生方の育成をこれまでと同じように重視していただけるとよい。

適切であったが、追記すべきと思う点は、園児募集や情報公開についてである。ホームページをはじめとするSNSでの発信等の運営については子どもたちのプライバシーなどの観点から難しいとは思いますが、必要性を感じる。保育者だけではなく、運動会や遠足など保護者が参加するようなイベントについては保護者からも何か発信できる機会も必要かと思う。

「この園だからこそ」という強みをそういった手段からアピールできるといいと感じた。